

本校の教育目標

大きく変化する社会に対応し、心身健康で思いやりがあり、学び続ける意思をもち、自らの進むべき道を目指して力強く生きることができる人間の育成を目指し3つの柱を設定した

「学」すすんで学びよく考える人
 『誠』礼儀正しく誠実な人
 『鍛』自分の力を信じ、やりとおす人

道徳の指導の重点

・内面に根ざした道徳性を育成するため、人権尊重の精神、郷土愛、公共の精神などを体験活動や外部の人材の活用を図りながら指導の充実を図る

道徳の時間の重点

・価値ある読み物資料の活用と話し合い活動などを通じて規範意識や社会参画への意欲を育てる

特別活動

・学級活動や学校行事を通じて、自主性や仲間を思いやる気持ち、集団での役割と責任を自覚させる
 ・体験的な活動で、伝統文化への理解や勤労の尊さ、郷土愛、礼儀などの道徳性を育てる。

学年の重点

1学年～望ましい生活習慣を身につけ、調和のある生活を送ることができるようにすることで、自己を見つめ、自己の向上を図ることを意識させるために、「自分自身に関する事」に重点を置く
 2学年～中堅学年として「行動できる」姿勢に付与される「自分自身の向上と心」や「他の人とのかかわりに関しての他者への理解と寛容の心」そして、「集団や社会とのかかわりに関しての集団の意義と役割・責任の自覚」を重点に置く
 3学年～最高学年として自覚を高める事で生徒集団のよきリーダーとしての役割を果たすために、「集団や社会とのかかわりに関する」事と将来の進路を拓く力をつける必要から「自分自身に関する」事に重点を置く

各教科

・国語～言語感覚を豊かなものにする事で、時と場に応じた言動をとることができるようになり思いやりの心など相互理解を高めることになる
 ・社会～わが国の国土と歴史を学ぶことで、伝統と文化や郷土愛を育て、公民的資質を養う事で、社会の秩序と規律、公正に判断しようとする態度を高めることになる
 ・数学～論理的に思考する能力を伸ばすことで、真理を求め、理想の現実を目指す心を育てることになる
 ・理科～自然を観察したり、科学的に探求する学習を行うことで、生命を尊重する心を育てたり、畏敬の念を深めることになる
 ・音楽～完成を高める学習を進めることで、感動する豊かな心を育てたり、新しい文化の創造に寄与しようとする態度を身につけることになる
 ・美術～表現や鑑賞などの活動をする事で、創造する喜びを味わうと共に美しいものに感動する心を育てることになる
 ・保健体育～集団ゲームを通じて、仲間を思いやる心や集団の一員としての役割と責任を自覚することができるようになる
 ・技術家庭～生活と技術に関する学習を通して、節度ある調和のとれた生活習慣を身につけたり、勤労の意義や尊さを理解する事ができる
 ・英語～外国語を学ぶことで、わが国の文化や世界中の日本人としての自覚の高まりと国際貢献への意欲を育てることになる

その他の活動

・各種行事での実行委員会活動やボランティア活動を推し進めることで、主体的に考え、思いやりのある、たくましく生きようとする力を身につけさせる
 ・部活動を通じて、自らの適正を伸ばすとともに責任感や連帯感を育てる